



Our 私たちの歩み方
Style

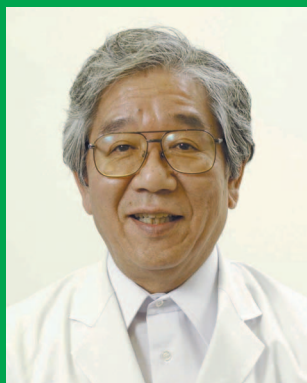
改革への取り組み



Tachibana Medical Corporation

医療法人 橘会
東住吉森本病院

地域医療支援病院としての 責務を果たすために あえて困難な改革に取り組みます。



東住吉森本病院 院長
宮城 邦栄
ミヤギ クニヒデ

謹 啓

地域の医療機関の皆さまには、
時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、当院に多大なご厚情を賜り、心より御礼を申し上げます。
さて、このたび、東住吉森本病院は、
大きな改革に取り組むことを決意いたしました。
その内容、背景について、皆さまに是非ともご理解をいただきたく、
ここにご報告いたします。
当院の改革、それは「森本ビジョン」の策定からスタートしました。
これは地域医療において、当院に求められている役割への自覚をもとに、
それを強化する意味で、一年をかけ創り上げたものです。
具体的には、まず一つに、「急性期病院」としての役割であり、
高度医療提供に不断の努力を重ねていくこと。
そして二つに、「地域医療支援病院」としての役割であり、
地域の中核的な医療機関として
地域医療全体の質の向上に大きく貢献することです。
この二つにおいて、今春よりプロジェクトを推進しています。
とはいえ、正直に申し上げて、すぐに実現できるものではありません。
また、地域の医療機関の皆さまのお力添えが何より重要となります。
しかし、当院が地域のなかでの責務を果たすために、
職員一同、一致団結し、全力を注いでまいります。
皆さまには、何卒、ご理解、ご協力を賜りますよう、
切にお願い申し上げます。

謹 白

できる限り速やかに、そして 着実に改革を進めています。

「森本ビジョン」について、お話をいたします。これは医療機関の機能分化に基づく地域連携、また、公的な機関や諸施設との連携を前提に、当院のこの地域での存在意義は何か、どのような病院をめざすのかを、改めて考え直したものです。具体的には、「急性期病院として、得意分野に磨きをかけること」「地域医療支援病院として、真に地域の中核的な病院の役割を果たすこと」。この二つに集約しています。

そこで、想定した病院になるために、必要な取り組みを明らかにしました。それが次の頁以降で紹介する「急性期病院としての三つのアプローチ」「地域医療支援病院としての三つのアプローチ」です。

私たちは、これら六つのアプローチに沿って、できる限り速やかに、しかし着実に、改革を進めていく決意にあります。そのためすでに院内では、医師、看護師をはじめとする医療スタッフ、また、事務スタッフなど、すべての職種を交ぜ合わせて作ったプロジェクトチームを立ち上げています。そこでは本来のビジョン達成はもちろん、そのときに発生する問題についても、どのように乗り越えていくか、真剣に考え、そして行動しています。

専門分野での強化と、完全 応需の救急体制が根幹です。

森本ビジョン達成に向けた六つのアプローチ。そのすべてに共通することがあります。第一に、当院の専門分野をいかに強化するかということ。そのためには、得意疾患群を特定し、その疾患に関する専門検査、診断、そして、専門治療能力の向上を図ることで、皆さまからの信頼を獲得できるよう努力を重ねていきます。また併せて、その分野でのプライマリーを担ってくださる医療機関、そして、急性期を脱した後、患者さんをケアしてくださる医療機関、施設との連携づくりにも注力し、連続性を担保した地域体制を築き上げていきたいと考えています。

そして第二には、救急医療におけるトリアージ機能の強化があります。その際の前提は、当院における1.5次～2次救急における完全応需の体制づくり。現在は副院長が救急部の責任者として、体制固めをめざしています。この確立と並行して、地域の医療機関の皆さまには、当院の専門分野へのご理解をいただき、相互補完し合える連携づくりを果たしていきたいと考えています。

専門分野での強化と、完全応需の救急体制。まだ歩みはスタートしたばかりですが、一つひとつ問題を解決し、実現へと努めていきます。



急性期病院としての レベルアップをはかります。

急性期病院としてのレベルアップをはかるために、右の三つのアプローチを掲げ、プロジェクトチームを中心とした取り組みをスタートしました。めざすのは、患者さんに、地域住民に、そして地域の医療機関の皆さまに“選ばれる”急性期病院として成長すること。そして地域の医療機関の皆さまとの本当の意味でのパートナーシップを確立することです。

顧客満足

地域医療機関の皆さま、 患者さん・地域住民の満足を追求。

●最善の「医療」と、「安心」の提供を。

当院の顧客には、三つの層があると考えています。それは、患者さんと地域住民、そして地域の医療機関の皆さまです。まず、患者さんについては、当院の急性期病院としての機能を最大限利用していただける方に対し、最善の医療を提供することで満足を最大化したいと考えています。同時に、これに該当しない患者さんに対しても安心して他の医療機関に移っていただくことで満足を保証しなければなりません。また、地域住民の方々に対しては、健康的にこの町で暮らしていくために、当院ができることを追求していきます。

●地域医療機関の情報を患者さんに。

地域の医療機関の皆さまに対しては、当院の正確な情報を提供するとともに、当院の得意領域外の患者さんには、皆さまからお預かりした情報を生かし、適切な医療機関にかかっていることで、満足度の向上につなげていきたいと考えています。



医療の質

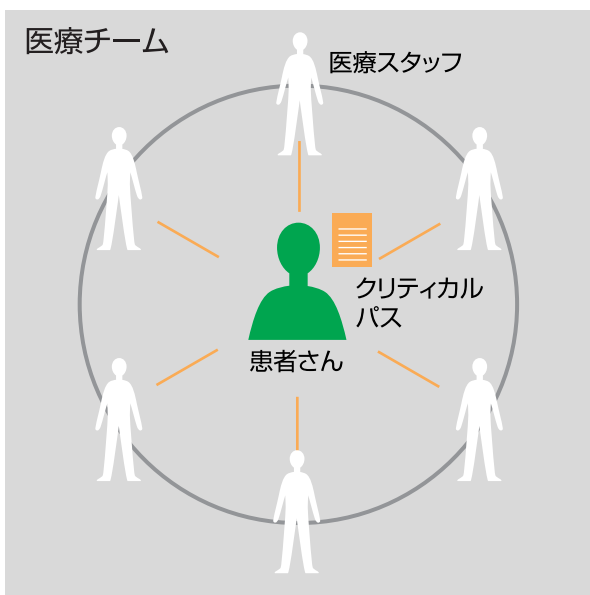
クリティカルパスを活用し 正しく質の高い医療を行います。

●パスによる標準的医療提供の仕組みを。

医療の質を高めていくにあたっては、「医療のプロ」に選ばれる質の実現をめざしたいと考えています。そのためにクリティカルパスを活用し、パスに基づいた標準的な医療を提供していく仕組みづくりをさらに推進していきます。つまり患者さんを中心としたシステム化を進め、より安定した、安心できる医療を提供したいと考えています。

●まずは消化器疾患、循環器疾患から。

まずは、当院が得意とする分野、消化器疾患や循環器疾患から取り組みをスタートし、同時にDPC（診断群分類別包括評価）への適応も進めていくよう計画しています。なお、クリティカルパスを策定した際には、地域の医療機関の皆さまにも広く公開します。それが将来の地域連携パスの導入に向けた布石になると考えるからです。当院のクリティカルパスが、地域医療全体の財産となることが大きな目標です。



臨床教育

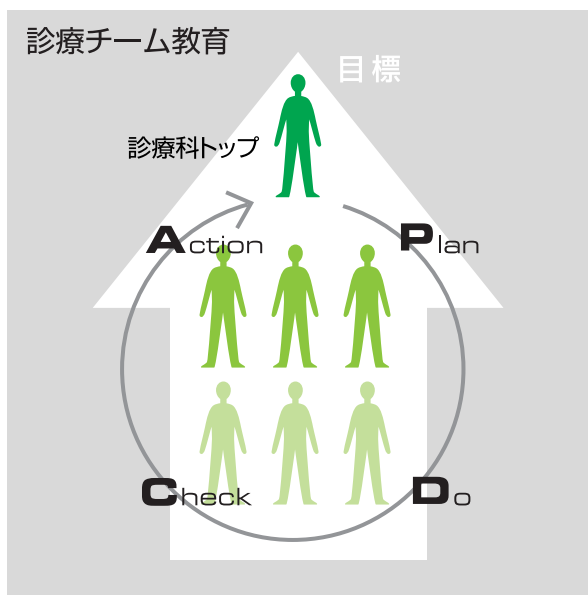
急性期医療を支える すぐれた人材の育成に努めます。

●PDCAサイクルでチームと個人の成長を。

急性期医療を支えるためには、病院組織として高度なシステムを実現するとともに、一人ひとりの職員が高度な専門能力を持つことが欠かせません。そこで当院では、臨床教育の充実にこれまで以上に力を注ぎ、それぞれの職員の専門能力を高める努力を続けます。その際には、各診療科トップのリーダーシップのもと、PDCAサイクル（Plan→Do→Check→Action）を通して、診療チーム全体のレベルアップをはかるとともに、一人ひとりの職員が自立的に成長できる好循環を実現していきたいと考えています。

●地域全体をあげての教育機会の実現を。

地域の医療機関の皆さまにも当院の教育にご参加いただき、ともにレベルアップをめざす仕組みづくりも考えています。たとえば院内の看護師研究会に、地域の看護師の方にご参加いただくなど、地域全体での臨床教育を実現したいと考えています。





地域医療支援病院としてのレベルアップをはかります。

当院では、地域医療支援病院としてのレベルアップには、積極的な姿勢で取り組んでいきます。具体的には、地域完結型の医療供給体制を整えるために、救急・急性期医療から在宅医療までの一貫したシステムを組み上げ、地域医療機関の皆さまとともに、患者さん・地域住民の方々が安心して暮らせる地域づくりに貢献していきたいと考えています。

地域医療トリアージ

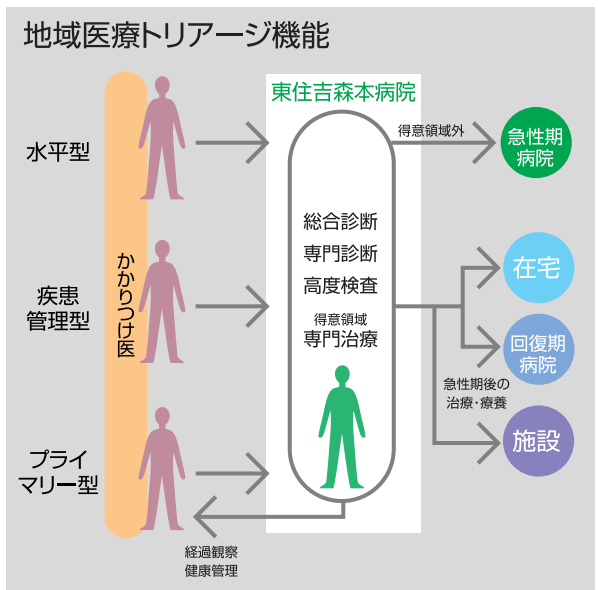
**互いの得意分野を生かしあい
地域医療全体の質を高めます。**

●地域の医療資源を効率的・効果的に活用。

当院には地域医療支援病院として、地域医療ネットワークの確立を推進していく責任があります。そのために、患者さんの病状により適切な地域医療機関を選別し、そこへ受診していただくという、地域医療トリアージ機能を高め、地域の医療資源全体をより効率的・効果的に活用していく仕組みづくりをさらに推進していくことが必要と考えています。

●地域医療機関と一体になり最適医療を提供。

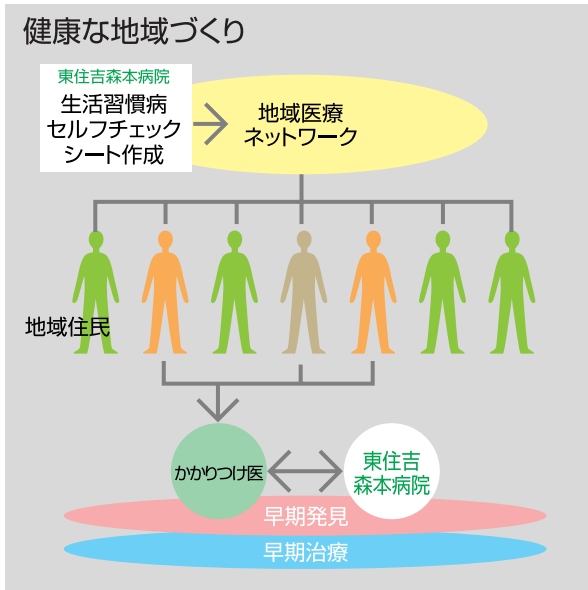
そのためには、一人ひとりの患者さんに対してどんな医療機関で、どんな医療を受けるのが最適なのかを、正確に見きわめることであり、同時に、地域の医療機関の皆さま方と、互いの得意分野を生かしあえるよう、ネットワークの精度を高めることでもあります。紹介・逆紹介の推進という視点を超え、地域の医療機関の皆さまと一体となり、患者さんにとっての最適医療を提供できる仕組みづくりのために努力を続けていきます。



疾病予防

予防医療の普及に努め 健康な地域づくりに貢献します。

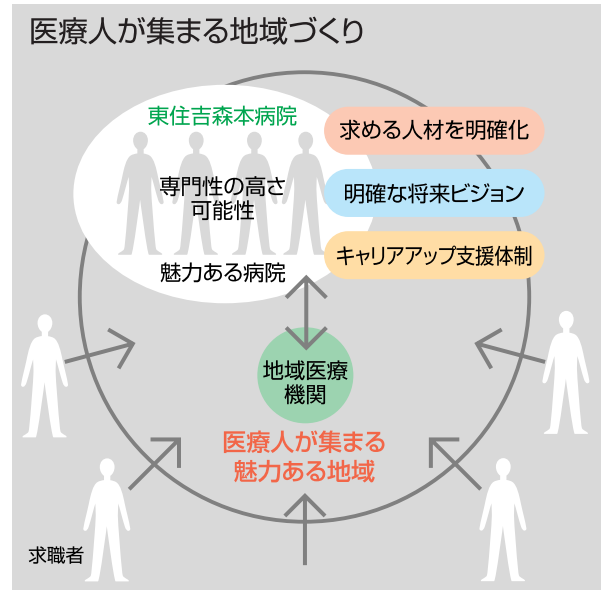
- 一つの仕組みとしてのセルフチェックシート。
地域医療支援病院が果たすべき責任の一つとして、病気の早期発見を含めた予防医療の普及はとても重要なことです。そこで私たちは、地域住民の方々が積極的に健康診断に来ていただける仕組みを開発しています。その一つが、「セルフチェックシート」で、病気のあるなしの目安を、一般の方にも分かりやすく提示し、それをもとに検診に来ていただきます。
- 診療所への検診促進を含め、予防医療を確立。
セルフチェックシートを地域住民の方々にお渡することで、診療所へと気軽に検査を受けてもらえるきっかけとなり、病気が見つければ他の病院へ二次受診していただく円滑な連携を促進させることで、予防医療の最適な形が確立できると考えています。これからも私たちは、今までの健康診断のあり方をさらに一歩進め、より積極的・能動的な早期発見・早期治療のシステムを構築していきたいと考えています。



リクルーティング

すぐれた医療スタッフが集まる 地域づくりをめざします。

- 全国からの医療スタッフ安定的確保に向けて。
私たちがめざす医療を実現するためには、優秀な医師・看護師をはじめとした医療スタッフを安定的に採用していくことが絶対条件となります。そのために現在、より魅力的な職場づくりや教育研修体制づくり、より積極的な情報発信を行うなど、リクルーティングノウハウを確立するための試行錯誤を続けています。その際、重視しているのは、この地域に住む方ばかりでなく、さらに広いエリア、日本全国からの医療スタッフの採用をめざしていることです。
- 優れた医療人が、優れた医療人を呼ぶ地域に。
こうした活動を継続していくことにより、この地域にすぐれた医療人を集め、彼らがさらに次のすぐれた医療人を呼び込むような流れをつくっていきたいと計画しています。それは、この地域全体の医療の質を向上するための抜本的な取り組みであり、地域医療支援病院である当院の使命であると考えています。





交通アクセス

- 電車・バスで
 - ・JR阪和線・地下鉄御堂筋線「長居駅」より市バスで「長居公園南口」下車すぐ
 - ・近鉄南大阪線「針中野駅」又は「矢田駅」より徒歩12分
- 車で
 - ・長居公園通りの長居公園東交差点を北へすぐ



医療法人 橘会
東住吉森本病院

〒546-0014
大阪市東住吉区鷹合3丁目2番66号
TEL 06-6606-0010 (代)
<http://www.tachibana-med.or.jp/>

地域医療連絡室直通 ☎0120-65-0343
平日／9:00～20:00
土曜日／9:00～17:00 (日曜・祝祭日休み)